astraJLPT Editorial

Language Knowledge (Vocabulary/Grammar)・Reading

問題用紙

（２０２６-１）

N1

言語知識（文字・語彙・文法）・読解

（110分）

注 Notes 意

1．試験が始まるまで、この問題用紙を開けないでください。
Do not open this question booklet until the test begins.

2．この問題用紙を持って帰ることはできません。
Do not take this question booklet with you after the test.

3．受験番号と名前を下の欄に、受験票と同じように書いてください。
Write your examinee registration number and name clearly in each box below as written on your test voucher.

4．この問題用紙は、全部で33ページあります。
This question booklet has 33 pages.

5．問題には解答番号の[1]、[2]、[3] … が付いています。解答は、解答用紙にある同じ番号のところにマークしてください。
One of the row numbers [1], [2], [3] … is given for each question. Mark your answer in the same row of the answer sheet.

受験番号　Examinee Registration Number	

名前　Name	

問題１　＿＿＿の言葉の読み方として最もよいものを、１・２・３・４から一つ選びなさい。

1　相手チームの多彩な攻撃に翻弄された。

1　ばんろう　　2　ほんりょう　　3　ほんろう　　4　ばんりょう

2　仲間が裏切ったと悟った主人公は、その場から脱出した。

1　さとった　　2　あせった　　3　さぐった　　4　うたがった

3　歴史書は、現代に生きる私たちにも多くの示唆を与えてくれる。

1　しげぎ　　2　しや　　3　しさく　　4　しさ

4　社長になってからも、彼は常に謙虚だ。

1　けんりょ　　2　げんきょ　　3　けんきょ　　4　げんりょ

5　このクリームを塗ると、肌(はだ)が滑らかになります。

1　やわらか　　2　なめらか　　3　きよらか　　4　なだらか

6　先に本人の承諾を得たほうがいい。

1　しょうだく　　2　しょだく　　3　しょうどく　　4　しょどく

問題２　（　　）に入れるのに最もよいものを、１・２・３・４から一つ選びなさい。

7　このゴムのボールは、（　　）があるので、手で押して潰(つぶ)してもすぐに元の形に戻る。

1　迫力　　2　効力　　3　弾力　　4　活力

8　このダムは完成までに20年という年月を（　　）。

1　ふるまった　　2　ささげた　　3　尽くした　　4　費やした

9　この劇場は座席が狭(せま)くて、座っている間、足を伸ばすことができず（　　）だった。

1　煩雑　　2　窮屈　　3　過密　　4　濃厚

10　彼のデザインは、花や木などの自然を（　　）にしたものが多い。

1　メモリー　　2　モチーフ　　3　ムード　　4　ニーズ

11　登山道のあちこちに登山者の注意を（　　）するための看板がある。

1　喚起　　2　挑発　　3　誘導　　4　増進

12　「30年以上の付き合いなのに相談もしてくれないなんて（　　）なあ」と友人は言った。

1　水くさい　　2　はかない　　3　手ぬるい　　4　とぼしい

13　プレゼンの途中で予想外の質問があり、すぐに答えられず、（　　）資料を探してしまい恥ずかしかった。

1　くるくると　　2　じろじろと　　3　ごしごしと　　4　あたふたと

問題３　＿＿＿の言葉に意味が最も近いものを、１・２・３・４から一つ選びなさい。

14　今年は不況で、ボーナスが支給されなかった。

1　成績が悪くて　　2　売り上げが悪くて

3　景気が悪くて　　4　態度が悪くて

15　この記事には、うまく仕事をこなす方法が書かれている。

1　依頼する　　2　指導する　　3　習得する　　4　処理する

16　私も倹約することにした。

1　時間を無駄に使わない　　2　お金を無駄に使わない

3　スペースを無駄に使わない　　4　エネルギーを無駄に使わない

17　その件については、断固抗議をするつもりだ。

1　即座に　　2　じっくり　　3　きっぱりと　　4　当然

18　相手側は裁判（さいばん）も辞さないという構えだ。

1　姿勢　　2　主張　　3　印象　　4　決断

19　期待していた試合の内容はあっけないものだった。

1　もったいない　2　ありえない　3　物足りない　4　みっともない

問題４　次の言葉の使い方として最もよいものを、１・２・３・４から一つ選びなさい。

20　納入

1　議会では新制度をいつ納入するかを検討している。

2　販売店に新商品を納入する日は、来月の10日に決まった。

3　この時期の子どもたちは知識を納入するのが早い。

4　私の家では押し入れに布団と衣類を納入している。

21　格差

1　鈴木さんは、見た目と性格の格差が激しいので誤解されやすい。

2　社会人になってから、学生と話していると話題の格差を感じる。

3　大企業と中小企業では賃金に格差があると指摘されている。

4　弟はマラソン大会で、二位の選手に格差をつけて優勝した。

22　引き締まる

1　長時間パソコンの作業をしていると、肩が引き締まる。

2　大谷さんは、疑うような引き締まった視線を向けてきた。

3　佐藤さんと話をしたが、退職の意思は引き締まっているようだ。

4　重要な仕事を任されて、気持ちが引き締まる思いがする。

23　満喫

1　私たちは科学の発達により、様々な恩恵を満喫している。

2　短期間だったが、観光をしたり名物を食べたりして、旅を満喫できた。

3　就職が決まったからといって、将来を満喫するのはまだ早い。

4　久しぶりの休暇で、疲れをいやし、心を満喫することができた。

24 所定

1　正月は家でのんびりテレビを見るのが、私たち家族の所定の過ごし方になっている。

2　機械によるエラーは、どんなに点検や整備をしても所定の確率で起こるものだ。

3　わが社とＡ社の合併は所定のことで、今から変更できるものではない。

4　証明書が必要な人は、所定の申込書に記入して提出してください。

25 はつらつ

1　体育館に、若者たちのはつらつとしたあいさつの声が響く。

2　外は気持ちよく晴れて、空がはつらつとしている。

3　今朝とれたばかりの魚で作ったはつらつとした刺身を食べた。

4　小島さんに初めて会った日のことは、今でもはつらつと覚えている。

問題5　次の文の（　　）に入れるのに最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

26　（会社で）

A「そっちの課のプロジェクト、順調そうだね。」

B「いや、（　　）、そうでもなくて……。」

1　ただ　　2　それが　　3　なのに　　4　あるいは

27　人にはいろいろアドバイスできるのに、なぜか自分のこと（　　）どうしたらいいのかわからなくなってしまう。

1　だけあって　　2　からすると　　3　にとって　　4　となると

28　私がこのチームの次期キャプテンに林さんを推薦する理由は、技術力の高さ（　　）強い精神力を持っているからだ。

1　にかけては　　2　をはじめ

3　もさることながら　　4　とあいまって

29　（求人広告で）

採用にあたっては、書類審査（しんさ）と面接を行います。面接は、応募者（おうぼしゃ）全員ではなく、書類審査を通過した方（　　）実施します。

1　に対してのみ　2　に対してさえ　3　によってのみ　4　によってさえ

30　だます（　　）、事実を隠（かく）していたのなら、だましたのと同じだ。

1　しかなかったとしても　　2　しかなかったかというと

3　つもりはなかったとしても　　4　つもりはなかったかというと

31　今度動物園にパンダを見に行く。今まで写真やテレビでしか（　　）、実物を見るのが非常に楽しみだ。

1　見たことがないだけで　　2　見たことがないだけに

3　見たかっただけで　　4　見たかっただけに

32　森「田中さんって、すごく絵が上手だよね。」

杉山「美術大学出身らしいよ。」

森「そうなんだ。どうりで上手な（　　）。」

1　はずだ　　2　ようだ　　3　ほどだ　　4　くらいだ

33　地道な基礎研究を軽視していては、科学技術の発展など（　　）。

1　望むがゆえだ　　2　望むべくもない

3　望むようなものだ　　4　望まないでもない

34　今日、友達が約束の時間に1時間も遅れてきた。5分、10分ならまだ許せるが、1時間なんて、（　　）。

1　遅れる始末だ　　2　遅れてはいられない

3　遅れるにもほどがある　　4　遅れても不思議じゃない

35　A「うちの課に新人が入るらしいって昨日言っちゃったけど、私の勘違いかもしれないから、（　　）？」

B「うん、わかった。」

1　聞かないでいてくれたのかな　　2　聞かなくてもよかったんじゃない

3　聞かなかったらよかったかな　　4　聞かなかったことにしてくれない

問題6　次の文の ★ に入る最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

（問題例）

あそこで ＿＿＿ ＿＿＿ ★ ＿＿＿ は山田さんです。

1 テレビ　　2 見ている　　3 を　　4 人

（解答のしかた）

1. 正しい文はこうです。

あそこで ＿＿＿ ＿＿＿ ★ ＿＿＿ は山田さんです。 **1 テレビ　3 を　2 見ている　4 人**

2. ★に入る番号を解答用紙にマークします。

（解答用紙）

（例）	①	●	③	④

---

36 私は、犬が ＿＿＿ ＿＿＿ ★ ＿＿＿ のだが、近寄れない。

1　分には　　2　苦手で

3　平気な　　4　離れて見ている

37 同僚（どうりょう）が会社を辞めるという。すでに次の仕事も決まっているそうだ。長年一緒に仕事をしてきたので、＿＿＿ ＿＿＿ ★ ＿＿＿ も状況は変わらないだろう。

1　引き止めたところで　　2　辞めてほしくないが

3　私としては　　4　私が

38 私が ＿＿＿ ＿＿＿ ★ ＿＿＿ 子供のうちから身につけさせたいと思うからだ。

1　しつけに厳しいのは　　2　恥をかかないだけの

3　社会に出て　　4　マナーを

39 ドライヤーなんて ＿＿＿ ＿＿＿ ★ ＿＿＿ 髪がさらさらになって驚いた。

1　どれでもいいと思って

2　髪を乾かせれば

3　安いのを使っていたが

4　高性能のドライヤーを使ってみたら

40 私は食器（しょっき）の収集が趣味なのだが、もう食器棚（しょっきだな）に空いているスペースがなくて、最近買った新しい ＿＿＿ ＿＿＿ ★ ＿＿＿ ままになっている。

1　箱から出す　　2　ことなく

3　押し入れにしまい込んだ　　4　食器は

問題７　次の文章を読んで、文章全体の趣旨を踏まえて、 41 から 44 の中に入る最もよいものを、１・２・３・４から一つ選びなさい。

以下は、教育学者が書いた文章である。

学校には、言語、数学、音楽、運動といった分野や、記憶力、創造性などに関する突出した才能を持つ子どもたちがいる。その中には、学校の授業のレベルが合わず苦痛だったり、別の教科では学習困難を抱えていたりと、つらい思いを抱える子どもも多い。

こうした現状 41 、文部科学省は支援について有識者会議を設けた。7月に発表された審議まとめには、理解のための周知や研修の促進、多様な学習の場の充実などの提言(ていげん)が盛り込まれた。

2点、私見を 42 。

まず、今回の提言は、英才教育を目的とするものではなく、すべての子どもの学習権を保障するという文脈で理解されるべきものである。教育基本法(きょういくきほんほう)には「すべて国民は、ひとしく、その能力に応じた教育を受ける機会を与えられなければならない」とある。「特異な才能」を持った子どもたちが、どうしても横並び主義に 43 学校の中でその機会を十分に得られていないのだとすれば、それを保障することは国の使命なのである。

次に、今回の提言は、教育システム全体を長い目で変えていくための一つのステップとして捉(とら)えられる必要がある。「特異な才能」を持った子どもに限らず、授業についていけない子どもや不登校等を生み出してしまっている一つの大きな要因も、何でも「みんなで一緒」を過度に求める学校システムに 44 。

皆で同じことを、同じペースで、ではなく、仲間や先生との協働に支えられながら、子どもたちが自分のペースで、自分にあったやり方で学びを進められること。それを通じて、すべての子どもの学習権を保障すること。そのようなシステムの転換をこそ、私たちは実現させていく必要があるのだ。

41

1　はともかく　　2　を受けて　　3　にあっても　　4　に反して

42

1　述べると思う　　2　述べるようにする

3　述べていただく　　4　述べたい

43

1　なりきれない　　2　なりようがない

3　ならざるを得ない　　4　なるわけにはいかない

44

1　あるからだ　　2　あるだけだ　　3　あるほどだ　　4　ある点だ

問題８　次の（1）から（4）の文章を読んで、後の問いに対する答えとして最もよいものを、１・２・３・４から一つ選びなさい。

（1）

我々はビジネスの中に主観や直観を持ち込むことを良しとしません。ただ、全く状況が分からない中で延々と情報収集をしていては今のビジネスのスピードに対応できません。そこで頼りになるのが、直観であり、主観です。ただし、これだけではダメです。直観的に判断したら、必ず論理的な検証をして妥当性を確認してみる必要があります。あるいは主観的に判断したら、必ず、さまざまな人の意見を聞いて、客観性を持たせる必要があります。

（注）直観：ここでは、直感と同じ

45　ビジネスにおける主観や直観について、筆者はどのように考えているか。

1　多くの人の意見を聞いたうえで、取り入れるべきだ。

2　論理的な検証をして判断する時間がない場合は、頼ることも必要だ。

3　速さとともに妥当性や客観性が求められるので、頼ってはいけない。

4　速さに対応するには必要だが、判断の妥当性や客観性も検討すべきだ。

（2）

赤ちゃんは周囲の人を自分にひきつけるための反応（はんのう）を生得的に備えて生まれてくる。ひよこの緊急時に発するピーという高い発声に対して、親鳥は敏感に反応する。人間でも赤ちゃんの独特の泣き声は、親を動かす。また大人からみて微笑と見える赤ちゃんの顔面筋肉の反応は、周りの大人にかわいいと思わせるためのものであると考えられている。これらの事実から、表情などの動きは本来心とは関係なく、環境に適応するための反応であり、心（感情）に先立つ動きであると考えてもよいであろう。

（注）生得的に：生まれつき

46 赤ちゃんの表情などの動きについて、筆者はどのように述べているか。

1　心の動きから生じ、周りの人の反応に合わせて変化することはない。

2　感情から生じるものではなく、生きていくための本能的な反応である。

3　緊急時に生じるもので、環境に働きかけるための反応である。

4　人をひきつけるための本能的な動きだが、感情が伴うこともある。

（3）

集団や仲間に依存したり迎合したりせず、ひとりになり、自分の心の声を聴いて、自分の生き方を見つけていく。孤独（こどく）力とは、そういう能力です。

そして、この孤独力の逆説的なところは、その基礎が自分の今のままの姿を受けとめてくれるような他者との関係の中でこそ養われていくところにあります。自分を今のまま、そのままで認めてくれる他者との関係の中で、はじめて人は自分の心の声に本当に素直になれる。自分の心の声を聴いて、孤独力を育んでいくのです。

（注）迎合する：自分の考えを他人に合わせる

47 逆説的なところとあるが、どのような点が逆説的なのか。

1　自分ひとりで生きていく力なのに、他者の存在がなければ育てられない点

2　自分の心の声を捉える力なのに、他者の心の声も理解しなければならない点

3　他者に依存しない力なのに、他者の助けがなければ養えない点

4　ありのままの自分と向き合う力なのに、他者への依存も必要である点

（4）

小説をほめるときに、「情景がありありと浮かぶ」という言い方がされることがある。逆に「情景が思い浮かばない」というのが、けなし言葉として使われることもある。しかし、小説が、文字を読んで映像を思い浮かべながら読むものだとしたら、最初から映像のほうがずっといい。変換しなければならないだけ、小説は面倒ということになる。小説離れの理由のひとつは、「映像を思い浮かべながら読むものだ」という思い込みにあるようにも思う。

48 筆者の考えに合うのはどれか。

1　情景が思い浮かばない小説は、映像より価値が低い。

2　小説は、情景が思い浮かぶかどうかで評価するものだ。

3　小説は、必ずしも情景を思い浮かべながら読むものではない。

4　小説離れの理由は、情景が思い浮かばない小説が増えたからだ。

問題９　次の（1）から（4）の文章を読んで、後の問いに対する答えとして最もよいものを、１・２・３・４から一つ選びなさい。

（1）

調理家電(注1)は確かに料理の手助けになります。時間の短縮、そして複雑な手順の段取り。つまり面倒で複雑な過程を器械が肩代わりしてくれます。確かに便利な道具です。少なくとも、そのことを意図して開発された器械のはずです。わたしも、日常的にその手助けの恩恵に浴(注2)しています。でも、よく考えてみると、調理家電の前でわたしたちがやることはいくつかのボタンを押すだけです。調理家電の前ではじつは人間が器械の働きの手助けをしているだけではないのか。器械があらかじめ決めたプログラムに従って、プログラム上の分岐点で、どちら（あるいはどれ）を選択するという補助的な行為が求められているのではないのか。ふと、そのように感じたのです。彼らは人間の労働を助けてくれているのではなくて、手抜きを助長しただけではないのかとも思えてきます。もっとはっきりといえば、わたしたちは家電製品のお手伝いをしている存在に成り下がっている(注4)かに思われるのです。

今、人工知能（AI)が人間の仕事を奪うのではないか、もしそうだとして、まっ先に奪われる(注5)仕事は何かなど、人工知能を巡る議論があちこちで沸騰しています。人工知能がもっと普及してくれば人間は労働から解放されるのではないか――そんな議論もあります。しかし、調理家電の動きを見ていると、料理に関する限りでは人工知能は人間にはボタンを押すという手助けだけを残して、創造的で楽しい部分は人工知能がもってゆくのではないかと懸念します。いや、もうそうなりかけている気がするのです。

（注1）調理家電：ここでは、高機能の調理用家電製品

（注2）～浴する：～を受ける

（注4）成り下がる：ここでは、なってしまう

（注5）人工知能（AI)：ここでは、人間のように思考ができる器械

49 そのように感じたとあるが、どのように感じたか。

1　調理家電が人間の手助けをするはずなのに、役割が逆になってる。

2　調理家電は人間の手助けにはなるが、まだ機能が十分ではない。

3　調理家電のボタンを押すだけのことでも、人間には面倒になっている。

4　調理家電の機能が高度になりすぎて、かえって使いこなせない。

50 人工知能をもつ調理家電の利用によって、人間は今後どうなると筆者は考えているか。

1　料理に楽しさを求めることがなくなる。

2　料理の楽しさが感じられなくなる。

3　料理の技術がさらに低下する。

4　創造的な料理が徐々に作れなくなる。

（2）

以下は、脳科学者が星座占いについて書いたエッセイである。

『ぴあ』[注1]の占いのコーナーを喜んで読んでいた頃、ぼくはもちろん因果性[注2]を理解していたし、経験科学[注3]の原理もわかっていた。それでも「占い」を読んで喜んでいるぼくがいたということは、人間が、いかに自分の中の整合性[注4]にこだわらない、いい加減な存在であるかを示している。

同時に、経験からして、「占い」は、それがあるメカニズムに基づいているかどうか、「当たる」か「当たらない」かということが本質ではないのだと思う。それは、いわば、脳の認識の回路に働きかける、「プラシーボ」のようなものなのだろう。

これは薬だと言って、砂糖のかたまりをあげると効く。この「プラシーボ効果」は、脳活動計測によって、脳の自己治癒能力が引き出されるものとわかっている。むろん、限界もある。しかし、限界の範囲内では効くのだ。占いの効用も、つまりはそのようなものだろう。

プラシーボ効果において、重要なのは文脈である。星座占いは、実はどの星座を読んでも同程度に「当たる」。しかし、自分の星座の項目が、まさに自分宛てに書かれたものであると信じることによって、何らかの作用が生の現場にもたらされるのだ。

たとえば、「今週は素敵な出会いがあります」と言われて、その気になれば、仕事や遊びで会う人、街で通りすがり[注5]の人に対する心の開かれ方が変わってくるかもしれない。もともと何の根拠もないものを、信じることで効果が生まれる。

（注1）『ぴあ』：娯楽雑誌の名前

（注2）因果性：二つの出来事の間に原因と結果の関係があること

（注3）経験科学：経験したことに基づく科学

（注4）整合性：論理的矛盾がないこと

（注5）通りすがりの：ここでは、すれ違う

51 人間について、筆者が自分の経験から言おうとしていることは何か。

1　占いに矛盾があると理解しつつも、興味が科学的根拠に勝っている。

2　科学的な考えと行動が矛盾していることに気づいていない。

3　科学的根拠がないと理解しているのに、そのことを気にしていない。

4　科学的根拠のないものを信じることはありがちである。

52 星座占いの効用について、筆者はどのように考えているか。

1　占いに科学的根拠があると信じれば、積極的に行動できる。

2　占いが当たると信じて行動すれば、幸運が訪れる。

3　占い通りにならなくても楽しむ気持ちがあれば、人間関係が広がる。

4　占い通りのことが自分に起きると信じれば、前向きになれる。

（3）

以下は、ゲームについて書かれた文章である。

他者との競争に勝ったり、自分で立てた目標を達成することは非常に嬉しいことである。しかし、日常生活でそれを経験する機会は、私たちを満足させるほど多くない。もっとたくさん勝ちたい私たちのために、ゲームは「先にここに勝ち進めた人が勝ちです」「白い線を踏まずに横断歩道を渡れたら勝ちだ」といった定義を持ち込んで、明瞭に勝つ機会を提供してくれるのである。ただし、勝ち負けがつけば必ずゲームが成立するわけではなく、絶対に勝てるゲームや勝ち目(注)のまったくないゲームはプレイされない。勝った先の利益がない純粋なゲームでは、勝つこと自体に価値が必要であり、初めから勝敗が確定しているゲームにはそれが足りないのである。

この「勝ちに価値づけをする」手段がルールの設定である。様々な縛りによって、勝つためにとれる手段を限定し、同時に勝つまでの道筋を複雑にする。それによって「そのままでは低い勝ち目を、そのゲームに応じた自分の適切な行動で高めることができる」状況が生まれ、その中で自身の能力と努力、相手との駆け引き、運の良さなどを駆使して得た勝ちを嬉しいと感じる。そして勝敗とは別に、勝ち目を増やす過程すなわちゲームプレイも面白いと感じるのである。

（注）勝ち目：勝つ可能性

53 筆者によると、ゲームが成立するために不可欠なことは何か。

1　すぐに勝敗が決まらないこと

2　誰(だれ)もが結果に満足できること

3　勝てば多くの利益が得られること

4　勝つことそのものに価値があること

54 筆者によると、ゲームにルールがあることでどうなるか。

1　プレイすること自体が面白くなり、勝敗を意識しなくなる。

2　ゲームに勝つために、ルールを相手よりもよく理解しようとする。

3　ゲームが複雑になり、自分の努力などで勝つ可能性が高まり楽しくなる。

4　駆け引きや運に頼らず、ルールの中で能力を駆使するのが面白くなる。

（4）

「なぜそうなるんだ」、「どうしてこんなことになってしまうのか」。そんなふうな「どうしようもなさ」を抱えた自分のもとに、それらのため息や憤りに寄り添い、慰めを与えてくれる心地よい言葉が投げかけられる。そんなとき、つい、「ちょっと待て、これはうわべだけの解決を教える言葉にすぎないのではないか。わたしは、立ち止まって考え続けるべきなのではないか」、そう自分に告げる良心の呼び声を封印(注1)し、ため息や怒りをなかったことにしてくれる便利な正解に飛び乗ることを選択してしまう。自分たちのなかに潜むそんな傾向に抗(あらが)(注2)い、逆らうことの難しさを否定することのできる人間はいないのではないだろうか。

（中略）

わたしたちの生活を取り巻く数々の「わかりやすい言葉」たちとその魅力に抵抗(ていこう)し、正解を知りたがる人びとのただなか(注3)で「わからない。何かが違っているんじゃないか」とつぶやいてみる。それが、哲学(てつがく)の目をもつ人間に特有の態度であるとすれば、お手軽な答えに飛びついてよしとするのではなく、あえて問いの下にとどまることを教える哲学の習性には、それ自体として一つの積極的(せっきょくてき)な機能を見出すことができるのではないだろうか。すなわち、みなが問いを放棄し、問題を終わらせよう、片づいたことにしてしまおうとする大きな流れのなかで、「ここには問題があります」とあえて提案してみせることに哲学の仕事の一つが見出されるのならば、そこには、「みずから積極的に問いの場を構築する」という意味において、一つの積極的な働きを見出すことが可能なのではないか。

（注1）封印する：ここでは、抑える

（注2）抗う：抵抗する

（注3）ただなかで：まっただなかで

55 筆者によると、人びとはなぜ心地よい言葉を受け入れてしまうのか。

1　考え続けても正解は得られないとわかっているから

2　考え続けることの苦しさから逃れたいから

3　問題が解決できるという安心感があるから

4　慰めの言葉は大切にすべきだと思うから

56 哲学の機能として、筆者が挙げているのはどれか。

1　みなが問い続けることを諦めようとした問題を示し続ける。

2　みなが問おうとしていなかった問題を提起する。

3　問いに対する正解をめぐって議論することの価値を示す。

4　問いとは考え続ければ正解が出るものだと説き続ける。

問題 10　次の文章を読んで、後の問いに対する答えとして最もよいものを、1・2・3・4 から一つ選びなさい。

子どもの言いなりになってしまう親は、①子どもの要求を何でも聞いてあげることが、子どもの意見を尊重することだと思っているところがあります。子どもが習い事をしたいと言ったら何でも習わせる、子どもが行きたいというならどこでも連れて行ってあげる、といったように。

確かに、習い事などは子どもが自分から何かをやりたいと言っているのですから、子どもの意見を尊重しているという面もあります。子どもの行きたいところに行くのも、子どもの好奇心を満たしてあげたい、いろいろなところに行っていろいろな体験をしてほしいという親心もあります。そして実際にプラス面も多々あります。

ただ、その子どもの「要求」と「意見」は違います。小学生くらいのお子さんの場合は、あまりよく考えないでなんとなく「やってみたい」「習いたい」「ここに行きたい」「これ欲しい」と言うことはよくあります。これは脳が発達段階にあるため、仕方がないことなのです。問題は、子どもの要求に対して親がどう対応するかです。子どもの要求をなんでも聞いてあげるのは、意見の尊重ではなく単なる甘やかしです。

子どもを甘やかしてしまう親は、子どもの可愛さのあまりつい子どもの言いなりになったり、忙しさを理由にして子どもにかける手間を省くために甘やかしてしまうという場合が多いのです。

どちらにしても、一時的な甘やかしではないため、その甘やかしはエスカレートしていることになりかねず、将来的には親子双方にとって禍根を残すことになります。親にも限度がありますから、子どもの要求にすべて応えることはできません。すると、あるところで②破綻します。

子どもの脳には、「私が言ったことを親は全部聞いてくれる」という回路が形成されてしまっています。そうなった段階で自分の要求が叶わないとすると、子どもは「もう私（僕）のことが可愛くないの？」「私（僕）のことが嫌いになったの？」と親を責めます。親は親で「望むことは何でも叶えてあげたのに、どうしてこんなことになったんだろう」と嘆く。

どうしてこんなことになったのかといえば、親子での「対話」による「交渉」や「妥協」が何もなかったからです。

そうならないためには、子どもとよく「対話」をして、その「要求」に対して「意見」をプラスするように親が導いてあげることが必要です。「○○を習いたい」という要求に対して、「どうしてそれを習いたいのか」「そうすることで何が起きるのか」ということを子どもとよく話し合った上で、子ども自身が自分の意見を修正できるようになればベストです。

（中略）

子どもの要求に対しては、ただやみくもにダメと言うのでなく、かといって要求をすべて呑むのでもなく、子どもとの「対話」を通じてお互いにとっての「妥協点」を探るための愛情のこもった「交渉」の場にすることが、子どもの知的発達にとってプラスになるのではないかと思います。

（注1）禍根：ここでは、災いの種
（注2）やみくも：むやみに
（注3）呑む：ここでは、受け入れる

57 ①子どもの要求について、親はどうすればいいか。

1　子どもの気持ちを反映したものなので、できるだけ尊重したほうがいい。
2　明確な理由もなく言っているものもあり、すべてには応えなくてもいい。
3　脳の発達段階によって変わるものであり、対応の仕方を変えてもいい。
4　好奇心の表れではあるが、対応は慎重にしたほうがいい。

58 ②破綻(はたん)しますとあるが、破綻すると子どもはどうなるか。

1　どうして自分の要求を叶えてくれないのかと親を問い詰めるようになる。

2　自分に対する愛情がなくなったと考え、親を責めるようになる。

3　自分の要求のすべてを叶えてもらえないとわかり、親に期待しなくなる。

4　自分の要求は聞いてもらえないと諦(あきら)め、親と「対話」しなくなる。

59 筆者によると、何かを要求する子どもに対して、親はどのように対応(たいおう)するのがよいか。

1　「対話」をしながら子どもの意見を確認し、要求に応じられるようにする。

2　「対話」を根気よく繰り返し、子どもが自ら要求を改めるように促す。

3　「対話」を通して、互いに合意可能なものになるように話を進める。

4　「対話」をする中で、互いに譲歩ができるようにする。

問題 11　次のAとBの文章を読んで、後の問いに対する答えとして最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

A

やりたい仕事のために必死に努力している時に、行き詰りを感じることがある。そういう時にまずすべきことは、なぜそのような状態になっているのかを考えることだ。必要な知識やスキルが足りていないのかもしれないし、これまでの努力のしかたが間違っていたのかもしれない。原因を把握し、自分にできることはすべてやってみる。もちろん、最善を尽くしたとしても成功できない可能性もある。しかし、努力を通して身につけたことこそが自分の強みになるのだ。その努力は、いつか別の道に進むことになっても生きてくるだろう。

行き詰りを感じた時は、潔く別の分野に方向転換すればいいという考えもあるが、そう簡単に努力するのをやめてしまったらよい結果には結びつかない。まずは一つの分野で努力し続けることが重要だ。

B

人は必死になって努力をしていると、どうしても一つのことしか目に入らなくなりがちです。それはそれで間違っていませんし、努力とはそういうものだと思います。

しかし、どうしてもそれが実らなかったり、行き詰ってこれから先何をしていいのかわからなくなったりした時、一度頭を柔軟にして別(べつ)の分野へ方向転換してみるのも一つの方法です。(中略)

もちろん、方向転換して成功するためには、その別の分野に手を出す以前にどれだけ努力していたかが大切です。そこでつくった蓄積がなければ、別の分野へ移ったところでそれが武器(ぶき)になることはありません。単純にまた一からやり直しになるだけで、余計時間がかかり、混迷していくことになるでしょう。でももし本当に努力してその分野のことをしっかりと身につけていれば、別の分野への挑戦を果たした時、それがとても大きな武器となることがあるのです。

60 行き詰った時の対処のしかたについて、ＡとＢはどのように述べているか。

1　ＡもＢも、原因を把握したうえで、異なるやり方で取り組んでみるべきだと述べている。

2　ＡもＢも、一つの分野にこだわらず、新しいことに挑戦してもいいと述べている。

3　Ａは自分に対処できることをすべてやってみたほうがいいと述べ、Ｂはこれまでに身につけたことを生かせる分野を探すべきだと述べている。

4　Ａはうまくいかない原因を追究するべきだと述べ、Ｂは思い切ってほかの分野にチャレンジしてもいいと述べている。

61 ＡとＢの認識で共通していることは何か。

1　必死に努力している時は、広い視野で物事を見ることが難しい。

2　必死に努力して身につけたことは、状況が変わっても役に立つ。

3　必死に努力し続ければ、困難があっても乗り越えられる。

4　必死に努力し続けなければ、よい結果につながらない。

問題 12　次の文章を読んで、後の問いに対する答えとして最もよいものを、1・2・3・4 から一つ選びなさい。

以下は、広告などのデザインをしている人が書いた文章である。

女性であれ男性であれ、人は自然体でいる時には自分についてなどおよそ意識していないにもかかわらず、自我のスイッチが入ると、たちまち自分を意識化して、感覚的にも理論的にも自己肯定しようとします。人に自意識がある以上いたしかたないのかもしれませんが(注1)、仕事で自我が芽を出したなと気づいた時に、できるだけ早くその芽を刈り取るべきです。(中略)

自我が出すぎていないかどうか自覚するためには、折あるごとに(注2)自分を疑ってみなければなりません。何かよい案を思いついても、その直後に、これは第三者にもちゃんと伝わるのだろうか、と自分を疑ってみる。自画自賛に陥っていないだろうか、と。なぜなら、どんな仕事でも本来、こちらの自我をあちらの他者に押し付ける所行(注3)ではなく、多くの人々と共鳴するところを冷静に感じ極める作業だからです。もちろん対象によってその程度は異なるし、自分の想いの丈(たけ)(注4)をぶつけていい場合もあります。

例えば自己資金で限定十個の作品を販売するのなら、自我を抑える必要などないでしょう。自分の想いを存分にぶつけた作品に共鳴してくれる人が、この広い世の中に十人くらいなら存在するはずだからです。たとえまったく売れなくても、その責任は自分でとればいい。あるいはその人の作家性を期待されて仕事の依頼を受けたのなら、思いっきり自分がやりたいだけやればいい。ただし、予算や制作期間の問題などで関係者に迷惑を掛けることは、むろん許されませんが。

では、道路標識(どうろひょうしき)のデザインはどうか。この仕事を任されたデザイナーの自我はどのくらい必要でしょうか。公共のサインである道路標識は、言葉も価値観も視力も、文化的背景すらも異なる人たちがほんの一瞬見て判断するグラフィックデザインであり、場合によっては命にかかわるものなので、できる限りの普遍性が求められます。つまり、道路標識をデザインする人の「自我」は、どこからも求められてはいないのです。同様のことは、老若男女誰(だれ)にでも使用される可能性がある嗜好品(しこうひん)などについても言え

るし、使用する素材の資源の問題やコスト、使用済みになった後の処理にまで考えを及ぼすとすれば、自分勝手が許される余地などどこにもないのではないでしょうか。

このように、対象によってなすべき内容が異なるのだから、与えられた仕事がどんな環境にあるかを客観的に把握しなければ。それでも、無意識にも自我はあるとすでに記したように、自分を意識していなくても自我は出てきてしまうものなので、自分のしていることを客観的に見るのはたやすくありませんが、常に相手や周囲の環境を優先し、それらを客観的に理解する習慣がつくと、厄介な「自我」の呪縛(じゅばく)(注5)から解放され、楽になり、なすべきことが浮かび上がってくる。それは対象から自ずと表れ出てきたもので、主体は自分ではなく、飽くまで相手なのです。

（注1）いたしかたない：しかたない
（注2）折ある：機会がある
（注3）所行：行為
（注4）想いの丈：ここでは、想いのすべて
（注5）呪縛：縛り

62 自分を疑ってみなければなりませんとあるが、なぜか。

1　仕事では、自己中心的にならずに他者と共感できる点を見極める必要があるから
2　仕事では、自信過剰にならずに自分の能力を正しく評価することが重要だから
3　仕事では、冷静に主張し自分の案に共感してもらわなければならないから
4　仕事では、どんな場合でも他者に自分の案を押し付けていけないから

63 デザインの仕事における自我について、筆者の考えに合うのはどれか。

1　普遍性が求められる場合よりも自我が求められる場合のほうが一般的だ。

2　作家性が求められる場合でも、自我より普遍性が優先される。

3　何をデザインするかによって自我が求められる程度は異なる。

4　デザインの対象にかかわらず、自我を出しすぎてはいけない。

64 仕事に対する姿勢について、筆者はどのように考えているか。

1　自分自身がなすべきことを見つけ出すことが必要だ。

2　自分自身より相手や周囲の意見を優先するべきだ。

3　無意識に自分を縛ってきたものを取り除くべきだ。

4　相手や環境を客観的に理解することが必要だ。

問題 13　右のページは、ある市のフリーマーケットの出店者募集の案内である。下の問いに対する答えとして最もよいものを、１・２・３・４から一つ選びなさい。

65　野木市に住む大学生のラマルさんは、フリーマーケットで、1日目は手作りのアクセサリーを、2日目は不要な日用品を売りたいと考えている。ラマルさんの支払う出店料はいくらになるか。

1　1,600円から300円を割引した金額

2　2,000円から300円を割引した金額

3　2,000円から500円を割引した金額

4　2,000円

66　会社員のイナさんは、不要な日用品を売るために、日曜日にこのフリーマーケットに出店したいと考えている。出店場所の抽選会には参加する。出店当日の朝、イナさんが現地でしなければならないことは何か。

1　8時以降に会場に入り、9時半までに案内所で出店場所を聞いて出店料を支払う。

2　8時から9時45分までの間に会場に入る。出店料を支払う必要はない。

3　8時半以降に会場に入り、9時半までに案内所で出店場所を聞いて出店料を支払う。

4　8時半から9時45分までの間に会場に入る。出店料を支払う必要はない。

野木市あおぞらフリーマーケット
出店者募集

フリーマーケットで、手作りの作品や不要になった日用品などを売ってみませんか。

〈開催要領〉

マーケットの種類	①手作りマーケット	②リサイクルマーケット
日時	10月24日（土）・25日（日）10時～16時	
会場	春島公園	ひがし大通り
販売できる物	手作りの作品（飲食物は不可）	家庭で不要になった日用品、本、衣類など
募集	20組	30組
スペース.	1.5m×1.5m	2m×2m
出店料（1日のみ）	1,000円	
出店料（2日間）	同じマーケットに出店する場合は1,600円 異なるマーケットに出店する場合は2,000円	

※学生応援割引：野木市在住または在学の学生で①に出店する方には、割引があります。①への出店が1日のみの場合は300円、2日の場合は500円割引します。

〈出店資格〉

18歳以上の方

〈応募方法〉

・「出店申込書」（ホームページからダウンロード、または野木市役所で入手可）に記入し、8月31日（月）必着で郵送またはご持参ください。

〈出店場所抽選会および出店料の支払い〉

9月12日（土）13時～ 市役所ホール

・各会場内の出店場所の抽選を行います。その際に出店料もお支払いいただきます。
・参加できない場合は、実行委員が代理で抽選を行います。出店当日案内所で9時半までに出店場所をご確認のうえ、出店料をお支払いください。

〈出店当日〉

・①の会場は朝8時、②の会場は8時半から入ることができます。遅くとも9時45分までには入場してください。10時に販売開始となります。

〈その他〉

・机、シートなどはご持参ください。
・雨天で中止する場合は、前日17時までにホームページにお知らせを掲載します。

【応募・問い合わせ先】あおぞらフリーマーケット実行委員会事務局

〒556-7232 野木市中川町1-2 野木市役所内 電話：038-930-0122

ホームページ：https://www.nogi.city.lg.jp/aozora/